

令和4年度 大阪文化祭賞 贈呈式

主催 大阪府 大阪市 公益財団法人 関西・大阪21世紀協会



受賞者（前列）と各部門の審査委員長他（後列）

2022(令和4)年度

大阪文化祭賞を贈呈しました

(2023年3月13日／NCB会館)

◆主催：大阪府、大阪市、公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

花柳 與さん(日舞)ら9公演に賞を贈呈

関西・大阪21世紀協会は、大阪府・大阪市とともに、芸術文化活動の奨励と普及、大阪の文化振興の機運醸成を目的に、大阪府内で1年間に上演された公演の中から、特に優れた成果をあげた公演に対して「大阪文化祭賞」を贈呈しています。

この賞は1963(昭和38)年に創設され、今回で59回目を迎えました。関西の著名な芸術家・文化人・ジャーナリストが審査員を務め、第1部門「伝統芸能・邦舞・邦楽」、第2部門「現代演劇・大衆芸能」、第3部門「洋舞・洋楽」の各分野から、独創性、企画、内容、技法などの総合的に優れた公演が推薦・選考され、最終審査を経て受賞者を決定しています。

今年度の大阪文化祭賞は、花柳與さん、桂あやめさん、奈良ゆみさん、また、将来の期待を込めた同奨励賞は、成田奏さん他個人や団体などに贈られました。

今年90歳の花柳與さんは、賞贈呈理由として“関西歌舞伎界の役者として研鑽を積み、舞踊家として鍛錬を重ね、唯一無二の表現が観る人の心を震わせた”と称えられ、[今からまだ頑張っていきたい]と応え、会場から感嘆と拍手が上がりました。桂あやめさんは、男性中心の落語界にあって上方で二人目の女性落語家として奮闘。女性目線で描いた新作落語や古典の改作で道を切り開いてきた成果が高く評価されました。フランス在住の奈良ゆみさんに対しては、“奈良さんが得意としてきた

サティだけでなく、多彩なフランスの作曲家の作品が並び、作品のキャラクターが十分に尊重された上で、自身の持つシャーマニスティックというべき強烈な個性を発露した歌唱が立ち現れ、相乗効果をもって聴く者に強く迫るという稀有な音楽体験を現出させた”と、歌唱のもつ可能性が高く評価されました。

贈呈式後の受賞記念公演では、奈良ゆみさんによる歌唱『逢ふことの』（松平頼則作曲）と『セクエンツァⅢ』（ルチアーノ・ベリオ作曲）、前田妃奈さん(奨励賞)によるヴァイオリン演奏『序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 作品28』（サン＝サーンス作曲）が披露されました。

関西・大阪21世紀協会は、芸術・文化分野における人材の発掘や育成、交流事業の一環として大阪文化祭賞を重視し、受賞者の記念公演を開催するなどアピールに努めています。また、受賞者の一層の励みとなるよう、副賞賞金(大阪文化祭賞20万円、同奨励賞5万円)を贈呈しています。



奈良ゆみさん(記念公演にて)



前田妃奈さん(記念公演にて)

詳しくは下記ホームページに掲載

●大阪文化祭賞



●公益財団法人
関西・大阪21世紀協会



2022(令和4)年度・各部門の受賞者 「」内は受賞公演名／敬称略

第1部門 伝統芸能・邦舞・邦楽

大阪文化祭賞 ▶ 花柳 與^{あとう} 「花柳與卒寿記念舞踊会 一局会」

大阪文化祭奨励賞 ▶ 成田 奏^{そう} 「調和会 和のしらべ 特別公演『道成寺』」 吉田 玉翔^{たましょう} 「文楽若手会 絵本太功記」

第2部門 現代演劇・大衆芸能

大阪文化祭賞 ▶ 桂 あやめ 「40周年あやめの会」

大阪文化祭奨励賞 ▶ 桂 吉坊^{きちぼう} 「吉坊ノ会」 劇団壱劇屋^{いちげきや} 「Supermarket!!!」

第3部門 洋舞・洋楽

大阪文化祭賞 ▶ 奈良 ゆみ 「祝祭の夜 サティとフランス六人組」

大阪文化祭奨励賞 ▶ 日本バレエ協会関西支部 「第48回バレエ芸術劇場『パキータ』・『フェアリードール』」
前田 妃奈^{ひな} 「関西フィルハーモニー管弦楽団 第333回定期演奏会」

大阪文化祭賞 受賞者コメント



◆ 花柳 與^{あとう}さん (日本舞踊家)

大阪文化祭賞をいただきまして、本当に喜んでおります。まだ今年90歳になったところですが、この道に入ってから85歳です。今からまだ頑張っていきたいと思いますので、どうぞ皆さん応援してください。



◆ 桂 あやめ^{あやめ}さん (落語家)

毎日のようにたくさんの公演がある中で見つけていただいて、本当にありがたいです。もっと人に驚いて笑ってもらえるような演出を考えていかないといけないと思います。発展途上である私に、このような賞をくださりまして、本当に感謝しております。



◆ 奈良 ゆみ^{ゆみ}さん (ソプラノ歌手)

本当を申しますと、驚いています。(フランスでの) コンサートも重なっており、(日本に) 帰らないでいたいと思っていましたが、贈呈理由を見た途端、感動して「帰ろう」と決めました。ありがとうございます。

大阪文化祭奨励賞 受賞者コメント



◆ 成田 奏^{そう}さん (能楽師小鼓方)

師匠並びと一緒に舞台をつくっていた先生方、先輩方、また、家族に支えられ忘れられない(道成寺の)初演になりました。



◆ 桂 吉坊^{きちぼう}さん (落語家)

師匠や先人の芸や思いを、僕らが次につなげるという責任をもって、一生をかけてやらせていただきたいと思います。



◆ 日本バレエ協会関西支部 (支部長・櫻野 隆幸^{たかゆき}さん)

いい作品をずっと続けられたことに感謝しております。先生方の残してくださったものを受け継ぎ、新たな時代に向けて頑張っていきたいと思っています。



◆ 吉田 玉翔^{たましょう}さん (文楽座人形遣い)

これからも芸道精進しまして、新たなことにも挑戦していきたいと思っています。文楽はもちろんのこと、大阪の文化の発展に貢献したいと思っています。



◆ 劇団壱劇屋^{いちげきや} (代表・大熊 隆太郎^{たかたろう}さん)

受賞作品は、関西を代表する人気作家の皆様をはじめとする関西の小劇場演劇の力の結集によるもので、本当にうれしい限りです。



◆ 前田 妃奈^{ひな}さん (ヴァイオリニスト)

コンチェルトは一人で弾くものではなく、指揮者や関西フィルハーモニー管弦楽団の皆様のおかげでこそ。とても感謝しています。